



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社
 コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻田 誠司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 木船 亨
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3667-7811

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	10,047	1.4	779	45.6	937	25.2	136	
30年3月期第2四半期	9,913	0.9	535	21.0	748	43.4	495	31.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 361百万円 (%) 30年3月期第2四半期 688百万円 (670.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	5.07	
30年3月期第2四半期	18.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	22,397	16,136	72.4
30年3月期	23,290	16,857	72.6

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 16,220百万円 30年3月期 16,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		11.00	11.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	3.3	1,350	45.3	1,600	30.5	300	62.2	11.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	29,748,200 株	30年3月期	29,748,200 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	2,895,867 株	30年3月期	2,895,808 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	26,852,376 株	30年3月期2Q	26,852,412 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績、雇用環境に改善が見られるなど景気は総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の保護主義的な通商政策の影響懸念など先行き不透明な状況は続いております。

精糖業界においては、引き続き消費の減少傾向が続き、加糖調製品や異性化糖及び他甘味料の浸食など厳しい状況が続いております。

この様な環境下、当社グループは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるなか、砂糖は製品の安定供給に取り組み、機能性食品は高付加価値提案型の販売活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高10,047百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益779百万円（同45.6%増）、経常利益937百万円（同25.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失は136百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益495百万円）の増収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 精糖

精糖事業においては、期初は順調に販売が推移したものの、夏場の酷暑、度重なる台風の影響等により、製パン、飲料関係は不振となり伸び悩み、販売数量は前年同期を下回りました。利益面では液糖製造の集約化を進め、生産の合理化を図った結果、増益となりました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高5,726百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益884百万円（同25.3%増）の減収増益となりました。

② 機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、整腸作用、血中脂肪の低減効果、食後の血糖値の低減効果に関する3つの機能性表示申請が受理されたことに加え、低糖質素材としての根強い需要があり、国内での新規採用が増加したことにより増収となりました。切花活力剤「キープ・フラワー」につきましては、テレビCMを実施し、生花小売店向販促を実施しましたが、花卉市場低迷により販売数量が伸び悩み、概ね前年同期並みの売上高となりました。連結子会社ユニテックフーズ(株)は主力製品であるゼラチン、ペクチンの販売が伸び、増収となりました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高3,891百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益117百万円（同1,027.0%増）の増収増益となりました。

③ 不動産

不動産事業の業績は、売上高307百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益266百万円（同2.0%減）の増収減益となりましたが、引き続き安定収益確保に貢献いたしました。

④ その他食品

その他食品は、タイでの食品関連事業が中心ですが、業績は売上高121百万円（前年同期比89.9%増）、営業損失47百万円（前年同期営業損失70百万円）の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3.8%減少し、22,397百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ7.1%増加し、10,150百万円となりました。これは主に現金及び預金、「その他」に含まれる未収入金の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ11.3%減少し、12,246百万円となりました。これは主に有形固定資産に含まれる建物及び構築物、機械装置及び運搬具の減少等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ0.7%増加し、4,461百万円となりました。これは主に未払法人税等の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ10.2%減少し、1,799百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4.3%減少し、16,136百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失計上による利益剰余金の減少等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ412百万円増加し、3,055百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、833百万円（前年同期比36.0%減）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上及びたな卸資産の減少等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、60百万円（前年同期比89.5%減）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、414百万円（前年同期比2.1%増）となりました。これは主として、親会社による配当金の支払額等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年10月19日付で公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであります。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,343,407	2,755,735
受取手形及び売掛金	2,806,196	2,762,636
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	2,055,612	1,946,193
仕掛品	131,970	104,275
原材料及び貯蔵品	700,988	663,928
その他	1,143,077	1,622,516
貸倒引当金	△4,708	△4,415
流動資産合計	9,476,545	10,150,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	809,036	482,809
機械装置及び運搬具(純額)	898,690	111,729
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	90,750	4,385
その他(純額)	92,129	77,034
有形固定資産合計	4,418,042	3,203,394
無形固定資産		
のれん	253,842	199,847
その他	112,890	105,231
無形固定資産合計	366,732	305,079
投資その他の資産		
投資有価証券	7,000,310	6,773,774
関係会社長期貸付金	1,773,240	1,706,600
その他	270,421	277,890
貸倒引当金	△15,278	△20,444
投資その他の資産合計	9,028,694	8,737,819
固定資産合計	13,813,469	12,246,293
資産合計	23,290,014	22,397,162

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,460,091	1,239,744
短期借入金	1,809,568	1,857,200
未払法人税等	195,792	477,550
賞与引当金	118,123	115,428
その他	844,583	771,353
流動負債合計	4,428,159	4,461,277
固定負債		
長期借入金	548,097	430,306
退職給付に係る負債	18,251	5,501
資産除去債務	65,987	66,319
その他	1,371,962	1,297,364
固定負債合計	2,004,298	1,799,492
負債合計	6,432,458	6,260,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,049,343	2,049,343
利益剰余金	11,743,913	11,244,066
自己株式	△717,035	△717,072
株主資本合計	14,600,682	14,100,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,255,650	2,120,278
為替換算調整勘定	73,507	27,000
退職給付に係る調整累計額	△30,555	△27,992
その他の包括利益累計額合計	2,298,602	2,119,286
非支配株主持分	△41,727	△83,692
純資産合計	16,857,556	16,136,393
負債純資産合計	23,290,014	22,397,162

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	9,913,361	10,047,591
売上原価	7,652,476	7,416,986
売上総利益	2,260,884	2,630,604
販売費及び一般管理費	1,725,761	1,851,210
営業利益	535,123	779,394
営業外収益		
受取利息	15,694	13,755
受取配当金	39,336	39,720
為替差益	32,026	31,627
持分法による投資利益	114,623	79,846
その他	27,165	18,870
営業外収益合計	228,846	183,819
営業外費用		
支払利息	15,252	15,773
貸倒引当金繰入額	26	5,782
その他	14	4,607
営業外費用合計	15,292	26,163
経常利益	748,677	937,050
特別利益		
固定資産売却益	-	4
投資有価証券売却益	-	503,769
特別利益合計	-	503,773
特別損失		
固定資産除却損	20	-
固定資産売却損	368	-
減損損失	15,285	1,141,732
特別損失合計	15,674	1,141,732
税金等調整前四半期純利益	733,002	299,092
法人税、住民税及び事業税	246,096	466,067
法人税等調整額	11,321	10,339
法人税等合計	257,417	476,406
四半期純利益又は四半期純損失(△)	475,585	△177,314
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,214	△41,275
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	495,799	△136,039

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	475,585	△177,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220,146	△135,371
為替換算調整勘定	△11,393	△51,262
退職給付に係る調整額	4,226	2,562
その他の包括利益合計	212,978	△184,070
四半期包括利益	688,564	△361,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	709,289	△317,615
非支配株主に係る四半期包括利益	△20,725	△43,770

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	733,002	299,092
減価償却費	129,860	139,437
のれん償却額	59,347	53,994
減損損失	15,285	1,141,732
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,138	△2,695
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,783	4,874
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8,159	△9,013
受取利息及び受取配当金	△55,031	△53,476
支払利息	15,252	15,773
為替差損益(△は益)	△32,026	△31,627
持分法による投資損益(△は益)	△114,623	△79,846
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△503,769
固定資産除却損	20	-
固定資産売却損益(△は益)	368	△4
売上債権の増減額(△は増加)	△86,681	81,993
たな卸資産の増減額(△は増加)	592,393	181,185
その他の流動資産の増減額(△は増加)	188,465	8,575
仕入債務の増減額(△は減少)	△218,573	△214,911
その他の流動負債の増減額(△は減少)	198,940	△29,822
その他	△33,359	△38,994
小計	1,382,836	962,498
利息及び配当金の受取額	83,814	71,345
利息の支払額	△14,977	△15,805
法人税等の支払額	△149,927	△184,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,301,746	833,728

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△538,936	△107,197
有形固定資産の売却による収入	261	131
無形固定資産の取得による支出	△3,251	△7,565
投資有価証券の取得による支出	△673	△684
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	33,448
長期貸付金の回収による収入	352,850	431,650
長期貸付けによる支出	△383,041	△410,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△572,790	△60,216
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△161,844	△18,771
長期借入れによる収入	150,000	-
長期借入金の返済による支出	△98,640	△100,162
自己株式の取得による支出	△21	△36
配当金の支払額	△295,376	△295,376
財務活動によるキャッシュ・フロー	△405,882	△414,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,684	3,545
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	329,758	362,709
現金及び現金同等物の期首残高	2,083,633	2,643,407
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	49,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,413,392	3,055,735

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結会計期間(自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の投資の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,180,016	3,362,867	306,319	64,157	9,913,361	—	9,913,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,743	—	1,889	—	4,632	△4,632	—
計	6,182,759	3,362,867	308,208	64,157	9,917,993	△4,632	9,913,361
セグメント利益 又は損失(△)	705,770	10,447	272,139	△70,135	918,220	△383,097	535,123

(注) 1 セグメント利益の調整額383,097千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,726,898	3,891,419	307,416	121,856	10,047,591	—	10,047,591
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,146	1,362	2,128	10,092	16,729	△16,729	—
計	5,730,045	3,892,781	309,544	131,948	10,064,320	△16,729	10,047,591
セグメント利益 又は損失(△)	884,012	117,737	266,808	△47,847	1,220,711	△441,316	779,394

(注) 1 セグメント利益の調整額441,316千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「機能性素材」セグメントにおいて982,817千円、「その他食品」セグメントにおいて158,914千円の減損損失を計上しております。